

「国際アーカイブズの日」について

[国際公文書館会議](#) (International Council on Archives・ICA) は、文書や記録の保存や利用について、世界中の公文書館の相互の連携を強め、活動の発展を目指し、ユネスコ (UNESCO) の支援を受けて、昭和23年 (1948) 6月9日に発足しました。

今年がちょうどその発足から60周年になることを記念して、ICAは、6月9日を「国際アーカイブズの日」と決めました。

文書や記録を残すこと、それは国や地方公共団体だけでなく、企業や団体にとっても非常に大切なことです。この日をきっかけに、それぞれが作成、取得したいろいろな文書や記録を、保存し、その利用を図ることの大切さをもう一度考えましょう。

[参考]

「アーカイブズ」という語彙について

- ・個人または組織がその活動を通じて作成、接受、蓄積した文書、映像、音声などによる記録や電子記録などのうち、組織運営や学術研究の必要性、文化その他の多様な価値ゆえに永続的に保存される資料
- ・これらの文書記録等を保存し、整理し、利用に供する施設
- ・文書記録等を保存、整理、利用に供する行為

国立公文書館
国立公文書館 検索

過去の記録から未来を見出す。

「国際公文書館会議」シンボルマーク

**2008年6月9日 誕生
「国際アーカイブズの日」**

国際公文書館会議 (International Council on Archives・ICA) は、文書や記録の保存や利用について、世界中の公文書館の相互の連携を強め、活動の発展を目指し、ユネスコ (UNESCO) の支援を受けて、昭和23年 (1948) 6月9日に発足しました。今年がちょうどその発足から60周年になることを記念して、ICAは、6月9日を「国際アーカイブズの日」と決めました。文書や記録を残すこと、それは国や地方公共団体だけでなく、企業や団体にとっても非常に大切なことです。この日をきっかけに、それぞれが作成、取得したいろいろな文書や記録を、保存し、その利用を図ることの大切さをもう一度考えましょう。

「アーカイブズ」
●個人または組織がその活動を通じて作成、接受、蓄積した文書、映像、音声などによる記録や電子記録などのうち、組織運営や学術研究の必要性、文化その他の多様な価値ゆえに永続的に保存される資料 ●これらの文書記録等を保存し、整理し、利用に供する施設 ●文書記録等を保存、整理、利用に供する行為